

生徒指導にかかわる情報提供

(三条)

1 学校教育研究会で今年度取り組んだ内容

※三条市は、生徒指導部会がありませんので、次の項目については空欄

- ①テーマ
- ②主な取組内容
- ③成果と課題

2 中学校区での「いじめ根絶スクール集会」(一例)

- ① 参加者(参加学年、保護者や地域住民の参加、会場等)
三条市立栄中学校区の児童生徒(栄中央小、栄北小、大面小の各6年生、栄中1年生)、保護者、学校評議員、自治会長、民生・児童委員、小中一貫教育推進協議会、公民館、駐在所、地域住民、市教委などが参加
会場は三条市立栄中央小学校体育館
- ② 運営の仕方(教師主導、児童または生徒、協議会等との連携)
小中4校の担当者会議、各校でグループ編制、スクールバス手配、案内状発送、講師の選定と打合せ、会場準備と当日の進行は栄中央小6年児童
- ③ 集会の主な内容(講演会、映画、討論会、発表会、ゲーム等)
「深めよう絆スクール集会」
<内容>
ア 講演会
講師は生徒指導アドバイザー石川志郎氏。演題は～「ぞうさん」のうたから～。
童謡「ぞうさん」の歌詞や、詩「私の妹」などを引用していじめについて考えさせたあと、子どもたち全員に「しあわせの熱気球カード」を配付した。このカードは、しあわせの10の要素のうち、自分が上昇する(しあわせになる)ために熱気球から外へ捨てていく要素の順番を考えさせるもの。それを各自記入し、次のグループ協議に入った。
イ グループ協議
グループ内で、互いに「しあわせの熱気球カード」を発表し合った。これにより、人によって価値観や考え方が違うことを認識したあと、グループ協議のテーマ「違う考えの人とつながっていくにはどうしたらよいか」について話し合った。
ウ 全体発表会
各グループから代表の児童生徒が発表。活発に意見交流をした。
- ④ 成果と課題
子どもたちは、童謡や詩、カードなど具体的な資料を基にしながら話し合い、人はみんな違いがあること、違って当たり前なんだということ、違いを誇りに思い、互いの違いを認め尊重することなどを学び、そのことを自分の言葉で自分なりに表現できたことは大きな成果である。
今後、スクール集会を単なる行事に終わらせないで、「いじめ根絶」をテーマにした多様な教育活動を年間を通じて計画的に実施していくことが重要である。

3 その他(他団体との連携による取組)

特になし